

株式会社村上技研産業

製造

輸送・貯蔵

利用

水素関連
製品の
研究開
発・製造

部品・
材 料

評価・
分 析

工事・
建設・
施 設
管 理

ここに注目！

オリジナル・オンリーワンのセンサ機器
水素関連設備に対する防災・セキュリティセンサ

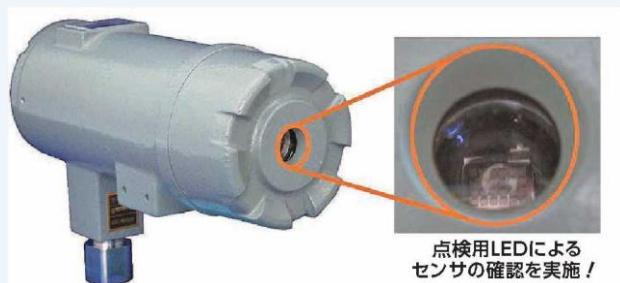


創立以来、「先進の技術、先駆の発想思想」を第一義として機電一体の装置開発に取り組み、確実で信頼性の高いセンサ・電子機器を社会に提供。これにより多大な信用を得ています。1979年5月に、現在の社名に変更して会社を設立。創立以来の進取の気風で課題に取り組み、グローバル時代に対応し得る技術力を磨いてきました。FA分野・測量分野・セキュリティ分野において、独自性あるオンリーワン製品を提供し、より一層の飛躍を目指しています。

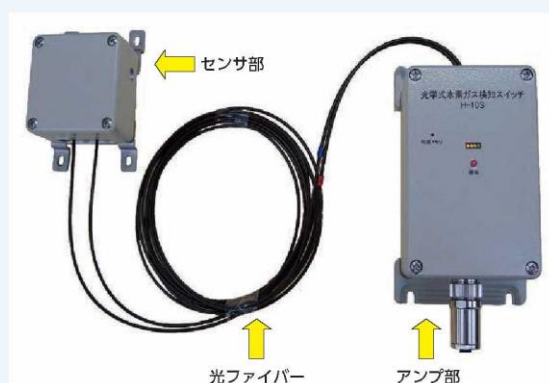
技術・サービスの強み

防爆形炎検知装置は肉眼では見えにくい水素炎をすみやかに検知することができます。炎とともに放射される紫外線にもとづいて検知する仕組みですが、独自の信号解析手法を用いることにより高感度で、かつ太陽光などの影響を受けにくい特徴を備えます。

なお、この紫外線式水素炎検知は特許取得済みです。また、光学式水素ガス検知スイッチはセンサ素子（合金薄膜）が水素ガスと反応し、色彩が変わることで水素ガスを検知します（特許取得済み）。センサ素子に直接電流を流さないため防災上非常に安全です。そのほか無酸素環境の水素ガスや気流状の水素ガスも検知可能であり、これらも特許取得済みです。



▲防爆形炎検知装置（自己診断機能付、型式：BFL-3WW-T）



▲光学式水素ガス検知スイッチ（型式：H-10S）

導入事例・実績

水素ステーションのディスペンサ、蓄圧器などに対して水素炎や、そのほか火気監視の安全設備として防爆形炎検知装置を多数採用されています。水素貯蔵、FCV（燃料電池自動車）の駐車場、水素の配管、水素やFCVの運搬船などのセンサとして特許取得済み。

事業計画

水素ステーションのセンサにとどまらず、水素の製造から運搬、貯蔵までの安全設備として展開。また、陸上に加え、海洋での水素利用を想定し、海洋分野でも対応可能なセンサの開発を進めていきます。

企業プロフィール

所在地：〒594-0083
大阪府和泉市池上町三丁目
9番55号
代表者：村上 功
<https://www.murakamigiken.co.jp/>

資本金：1,000万円
設立：1979年
TEL：0725-45-0321

担当部署

部署名：営業技術部
TEL：0725-45-0321
e-mail：murakami@murakamigiken.co.jp